

主な論点	施策の方向性		検討時期	
	短期	中長期		
論点 1：地域ごとに異なる望ましい水環境の実現に向けた下水道のあり方	地域の課題 個別の処理プロセスによる解決策	<ul style="list-style-type: none"> ■ 水環境に対する地域ごとの新たなニーズを踏まえた水域の目標設定とその目標に応じた下水道対策の実施 ※高度処理の現状と今後の方向性 ※環境基準であるCODの課題等への対応 ■ 栄養塩類の能動的運転管理を踏まえた計画放流水質の柔軟な運用 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 環境基準に追加・変更された底層DO、大腸菌数への対応 	第2回、第3回
論点 2：様々な社会的要請等に効果的に対応するための下水処理のあり方		<ul style="list-style-type: none"> ■ エネルギー管理を踏まえた効果的な運転管理の推進 ※水質変動を踏まえた水質管理方法の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 窒素・りんの資源管理の観点から下水道の新たな役割について検討 ■ 残余排出量のオフセットやブルーカーボン、グリーンインフラ等による脱炭素対策 	
論点 3：流域全体を俯瞰した全体最適（流域管理）による下水処理のあり方	全国的な課題 流域の全体最適による解決策	<ul style="list-style-type: none"> ■ 流域における水質、エネルギー等の全体最適に基づき、地域特性や処理規模に応じた合理的な処理レベルの設定 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 廃棄物・再生エネルギー事業など他事業との連携事業への配慮 	第4回、第5回
論点 4：流域全体を俯瞰した全体最適（流域管理）を推進する計画制度等のあり方		<ul style="list-style-type: none"> ■ 人口減少下の管理・更新の時代における新たな流総計画のあり方（計画内容・機動的な見直し）を検討 ■ 下水処理の状況に応じた負担のあり方を検討 ※負担のあり方について、排出量取引のような費用や収益の構造によって柔軟に対応できる方法の検討 ■ 流域関係者が地域の水環境に関する目標像を共有し、水環境への関心を深める取り組みを推進 ※多様なニーズに対してそれらのバランスをとることが重要 		
論点 5：戦略的な水環境管理を実現するための技術開発や知見の集積		<ul style="list-style-type: none"> ■ 戦略的な水環境管理の実現に必要な技術開発の検討や知見の集積を実施 		適宜

今回の論点